

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象年度		令和7年度		担当課	産業振興課、秘書広報課、財政課、多文化共生・交流課		
				関係機関	商工会議所、観光機構、商店会連合会		
作成日	目標設定	2025/6/19		中間見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19
方針番号		1	方針名	武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興			
施策番号		1	施策名	個性豊かなまちの魅力の醸成・発信			
取組内容	1	予定	昨年度導入したプラチナマップなどの媒体を活用しながら、市内商工観光団体と連携し、まちの魅力醸成の取り組みを進める。			達成指標	・SNS媒体も用いた事業周知 ・プラチナマップの活用 ・市提案による事業計画の立案
		実施	商工観光団体による既存のイベントでプラチナマップを積極的に活用し、 周知を強化 した。また、市広報媒体でイベントの特集を掲載した。				
	2	予定	令和7年度から新たな寄附受付サイトの運用を開始し、市の魅力発信の範囲を拡げていく。また、プロモーション活動内容を検討し、実践していく。				新たな寄附受付サイトの構築完了、導入後の寄附額動向を確認。 プロモーション活動による寄附額の動向を確認。
		実施	令和7年5月に「楽天ふるさと納税」、同年11月に「ふるなび」を新規開設し、 寄附受付サイトの拡充 を行った。				
	3	予定	アンテナショップ麦わら帽子への来店及び友好都市のPRにつなげるため、友好都市と連携したフェアや商品構成を実施していく。				・昨年度実施した友好都市の意向調査の結果を踏まえつつ、友好都市との連携事業を検討。
		実施	多文化共生・交流課と連携し、 各友好都市へのバイヤー活動などの支援 を行った。それにより、 各友好都市からの持ち込みフェアも増加 し、売り上げに貢献した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・「トレジャーハンティング(探偵ムサシ)」「七福神めぐり」などのイベントでプラチナマップを活用し、 新たな情報発信 に取り組んだ。 ・従来の市報掲載のみならず「 季刊むさしの 」等の媒体にも掲載。周知拡大に努めた。 【取組2】 ・新規受付サイトの拡充により、 市の魅力発信を強化 。 ・本市寄附額も 1月末時点で約18億円と前年度比約3倍 となった。 【取組3】 ・多文化共生・交流課と各友好都市で実施している「ふるさとは美しく」事業において、麦わら帽子のバイヤー活動をモデル事業として選定いただいた。 ・ 3年で9都市訪問予定 であり、今年度は新潟県長岡市、千葉県南房総市、鳥取県岩美町を訪問。 ・各都市の魅力を発見するとともに、売り上げにも貢献。2月中下旬には訪問都市で厳選した商品を集めたフェアを開催する予定。					
次年度の予定		方向性	拡充				
		内容	・各イベントでプラチナマップを活用しやすくなるよう方法を検討する。そのほか商工観光団体によるイベント実施の支援を継続する。 ・ふるさと応援寄附に関して、新規受付サイトの拡充によるプロモーションは実践できたが、ふるさと納税制度を通じた市の魅力発信については、さらに検討を進める。 また、同制度を活用したガバメントクラウドファンディングについても検討を進める 。 ・麦わら帽子では、 次年度も引き続きバイヤー活動を実施 し、各友好都市の魅力発信などに努めていく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		・本施策に基づく各種取組内容に関しては、 計画どおり実施することができている 。 ・ふるさと納税は、寄附額が大幅に伸びているところではあるが、引き続き市の魅力発信という目的に沿った施策の検討が必要である。 ・麦わら帽子は、 バイヤー活動により顔の見える関係が構築 。フェア開催など友好都市からの提案も増えているため、今後も継続していく。					
審議会意見		アンテナショップ麦わら帽子については、間口を工夫する等、入店しやすい店づくりを検討すること。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象年度		令和7年度		担当課		産業振興課、資産活用課、まちづくり推進課、吉祥寺まちづくり事務所、交通企画課、道路管理課							
				関係機関		商工会議所、商店会連合会							
作成日		目標設定		2025/6/19		中間見直し		2025/12/21		評価時		2026/2/19	
方針番号		1		方針名		武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興							
施策番号		2		施策名		新たな価値を生み出すまちづくり							
取組内容	1	予定		引き続き、市が実施する公共空間等を利用した社会実験等に関する情報を商店会にも共有し、参画の機会等について検討する。					達成指標	・庁内向けに今年度の社会実験実施予定の把握。 ・担当課の意向を踏まえ、把握結果を関係商店会へ共有。			
		実施		各担当課から商店会への情報共有や参画を依頼し、共同で実施した。									
	2	予定		装飾街路灯の維持・更新に関して、都・市の補助制度について、周知するとともに、更新等を希望する商店会に対して補助を実施する。また更新に係る市の関わり方と街路灯電気料補助のあり方について引き続き検討する。						・補助金説明会で案内を実施 ・都補助金の拡充事項の周知強化 ・補助金活用希望の商店会への支援実施。 ・市の関わり方と補助のあり方に関する資料整理。			
		実施		電気料補助のあり方について、予算の充実を検討し、令和8年度予算で拡充する方向性となっている。									
	3	予定		オープンスペースや歩道状空地の他に求める公共貢献のあり方について、関係課との連携を図っていく。						・関連計画の改定に向けた委員会等において協議を実施。			
		実施		オープンスペースについて関係課と情報共有を行い、活用方法について協議を行った。									
	4	予定		吉祥寺活性化協議会が中心となり実施している「荷さばきルール徹底週間」を引き続き支援する。また、共同集配送事業が今後も滞りなく実施されるよう、共同集配送センターの維持管理を適切に行う。						・荷さばきルール徹底週間の開催回数 ・荷さばきルール徹底週間中の路上駐停車台数の削減 ・共同集配送センターの設備点検の実施 ・共同集配送センターの配送個数の維持			
		実施		「荷さばきルール徹底週間」を引き続き支援した。また、共同集配送事業が今後も滞りなく実施されるよう、共同集配送センターの維持管理を行った。									
実施内容に関する所見・評価				【取組1】 ・今年度実施された社会実験『KICHIJOJI STREET PICNIC2025』では、所管課が商店会へ情報共有及び参画依頼を行い、商店会と共催という形で事業実施された。 ・その他にも関係課・団体と商店会が連携して行われた事業があった。 【取組2】 ・商店会連合会からの要望に応える形で、予算の拡充に取り組んだ。 【取組3】 ・まちづくり推進課をはじめとした関係課と情報共有する体制が構築できた点は評価。 【取組4】 ・今年度も、地元商店街関係者が中心となり、荷さばきルール徹底週間を2回開催し、路上駐停車台数の削減を図った。 ・共同集配送センターの設備点検及び必要な修繕等を行い、年間を通して共同集配送事業が滞りなく実施された。									
次年度の予定		方向性		継続									
		内容		・社会実験の所管課、地元商店会と連携の上、目的に沿った意義ある事業としていく。 ・商店会の装飾街路灯について、今後の支援やあり方について引き続き検討していく。 ・市内のオープンスペースの活用について、商店会にも情報共有を行いながら、所管課とより良い活用について検討していく。									
審議会報告事項 (産業振興課記載)				社会実験に限らず、市が実施するイベント・事業等では、回遊型イベントのように周辺商店会を巻き込んだものもあり、次年度以降もその点は継続していきたいと考えている。 街路灯について、まちの防犯・防災面からも引き続き支援のあり方を検討していく必要がある。									
審議会意見				取組内容4の共同集配送事業について、セントラルエリアだけでなく、ウエストエリアなども含めたエリアの拡充について、未来志向で検討すること。									

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象年度	令和7年度		担当課	産業振興課、市民活動推進課、生涯学習スポーツ課			
			関係機関	商工会議所、商店会連合会、観光機構			
作成日	目標設定	2025/6/19		中間見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19
方針番号		1	方針名	武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興			
施策番号		3	施策名	豊かで多様な市民文化と産業の連携			
取組内容	1	予定	アニメコンテンツを活用した回遊イベント等を通じて、まちの魅力向上と来街者増を図る。また、誘客後の地域活性化につなげる方策を商工観光団体と連携し検討する。			達成指標	・吉祥寺エリアのトランスボックスにラッピングを行い、商工会議所・観光機構と連携し地域活性化及び誘客促進を図る。
		実施	令和8年1月に吉祥寺駅周辺に「機動警察パトレイバーEZY」デザインのラッピングしたトランスボックスを設置。アニメノムサシノと連携した事業を実施した。				
	2	予定	アニメや漫画、ゲームなどの文化と地域の商店会や事業者が連携した取組みを引き続き支援する。				・各地区で実施される音楽/文化等に関するイベントの実施 ・アニメノムサシノの実施支援 ・TOKYO INDIE GAMES SUMMITの実施支援
		実施	吉祥寺音楽祭、吉祥寺国際アニメーション映画祭、TOKYO INDIE GAMES SUMMITの実施支援を通して、コンテンツを活用した地域活性化を図った。また、ハーモニカ横丁80周年イベントとの連携で、デザインマンホールの設置も支援した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1,2】 ・様々なコンテンツを活用した取り組みは、そのファン層を中心に、広く市内外からの誘客効果があることを確認することができた。 ・地域の商店会や店舗等と連携した取り組みも一定程度実施することができ地域活性化へ寄与できたと評価している。 ・今後も、商工会議所や観光機構との連携を強化し、産業振興・観光推進の視点で取り組みを継続していく。					
次年度の予定		方向性	拡充				
		内容	・引き続き商工観光団体と連携しコンテンツを活用した取組みを進める。 ・令和8年度は中央地区にデザインマンホールを設置し、中央地区商店連合会と連携した回遊施策を展開する。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		コンテンツを活用した事業については、商工観光団体等と引き続き連携し、実施していく他、各種事業に対する市としての支援のあり方について検討を行う。 公共施設の改修工事による事業実施会場確保の影響について検討する必要があると考えている。					
審議会意見		イベントなどの事業を企画しても人を集められる場所がないことにジレンマを感じる。まちづくりや公共施設の整備、改修などハード面を整備する際には、集客性等のソフト面も考慮のうえ検討すること。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課			
			関係機関	観光機構			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		1	方針名	武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興			
施策番号		4	施策名	まちの特性を活かした地域密着型観光の推進			
取組 内容	1	予定	昨年度作成したプラチナマップのアップデートを行い、他のデジタルマップとの連携について検討していく。			達成 指標	・観光機構への支援 ・プラチナマップの有効活用
		実施	プラチナマップの店舗情報を約300件追加し、既存イベントでプラチナマップを積極的に活用した。他のデジタルマップとの連携は主たる目的が異なることから連携まで至らなかった。				
	2	予定	まちの特性を活かした回遊イベントなどについて、効果検証を行うための要素を企画内に取り入れることを検討する。			達成 指標	・地域密着型観光事業やウェルカムキャンペーンなどへの支援 ・トレジャーハンティング等の回遊事業の実施 ・インバウンド事業の実施 ・効果検証の実施
		実施	回遊イベントにプラチナマップを活用したことで、参加者の反応を数値で振り返ることができた。				
	3	予定	観光機構の各委員会事業の見直しを図る。			達成 指標	・事業見直しの件数: 2件以上
		実施	<u>シティプロモーション委員会のロケ支援事業について、より専門的な対応ができるよう専門業者にアウトソーシングした。また観光機構親善大使の役割について今後の整理方針を検討した。</u> マップ委員会ではプラチナマップについて、これまでのマップ情報の拡大だけでなく、 <u>他イベントでの活用という新たな取り組みを行った。</u>				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・既存イベントにおけるプラチナマップの活用により、 <u>アクセス数が前年度比約3倍と増加し認知度向上につながった。</u> ・多言語対応によりインバウンド旅行者に対するイベントの利便性向上に寄与した。 【取組2】 ・プラチナマップの活用により <u>回遊性や表示の効果が可視化されたことで、企画改善の検証ツールとして有効活用できた。</u> 【取組3】 ・従来から実施してきた事業の見直し、今後の展開等の検討し実施することができた。					
次年度の予定	方向性	継続					
	内容	・引き続きプラチナマップの更新と、イベントと連携した有効的な活用方法を検討し、 <u>この地域ならではのマップとしての価値を高めていく。</u> ・今後インバウンドを含む多様な来街者に適切に対応していくことを目的に、武蔵野市観光機構が取り組む来街者実態及び地元意向の調査の実施を支援する。					
審議会報告事項 (産業振興課記載)		観光機構の事業見直しについては、今後も効果検証も含めて継続的に実施していく必要があると考えている。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度	担当課	産業振興課				
		関係機関	—				
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		1	方針名	武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興			
施策番号		5	施策名	暮らしを豊かにする都市農業の振興			
取組 内容	1	予定	農地保全を推進するために、地域や環境に配慮した設備や農地創出等に関する経費への補助を都の補助金を活用して行う。		達成 指標	・想定実施件数：計1件（農地創出1件を予定。）	
		実施	農地創出1件を実施した。				
	2	予定	障害のある方等が、農業を通じて社会参加ができ、就労の場を生み出すきっかけづくりになるように、農業を通じた福祉施設等との連携を進める。			・令和5年度より実施中の試行事業を継続して注視しつつ、各種調査等も参考にしながら、市内での農福連携事業の在り方について引き続き精査	
		実施	試行事業の進捗を見つつ、第4期農業振興基本計画策定委員会にて、本市農業における今後の農福連携のあり方について検討した。				
	3	予定	農地の貸借について、関係団体とも連携しながら、必要に応じて新規貸借に向けた相談を受けるなど、円滑な制度活用にに向けた取組みを行う。				農地貸借相談件数：1件以上
		実施	新規貸借3件（農地法3条：1件、都市農地貸借円滑化法：2件）を開始した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・相続の発生等に起因して農地が減少の一途をたどっている一方で、宅地の一部を農地に変更する農地創出の取組を1件実施することができた。 【取組2】 ・農福連携については試行事業の縮小や終了の可能性もあるほか、第4期農業振興基本計画においても、現状や課題を踏まえ、本市にあった農福連携の可能性を探るとしているため、今後も農業者の意向を踏まえながら、慎重に検討を続けていく。 【取組3】 ・農地の貸借については、生産拡大の意向をもつ農業者の生産量拡大につながる有意義な取組であった。					
次年度の予定	方向性	継続					
	内容	・今年度に策定した第4期武蔵野市農業振興基本計画に基づき、市内農地や農業を守る取組みや市民が愛する農業の推進や温暖化対策といった持続発展的な農業経営の推進に資する取組の実施を検討する予定である。					
審議会報告事項 (産業振興課記載)		本年度の状況も踏まえ、次年度以降も継続して取り組んでいく必要があると考えている。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、安全対策課			
			関係機関	商工会議所、商店会連合会			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		2	方針名	地域や学生等と連携して創る産業振興			
施策番号		6	施策名	活力とにぎわいを生み出す商店会(街)・事業者支援			
取組 内容	1	予定	武蔵境地区での地区サポート事業や路線商業活性化総合支援事業の実施について引き続き支援していく。また、今年度から新たに吉祥寺地区でも地区サポート事業導入予定のため、着実に進められるよう支援する。			達成 指標	・地区に割り当てられた補助金の適正かつ効果的な執行に向けた支援の実施
		実施	地区サポート事業について、武蔵境地区では事業者 に委託 する形で、吉祥寺地区では行政書士を活用する形で実施することができた。				
	2	予定	商店会員の増加、空き店舗の解消、創業者への支援を目的として、新たに市内で出店する事業者・個人に対して商店会活性出店支援金事業を通じて補助する。また、本事業の広報手法についても検討する。			達成 指標	・補助実施件数120件 ・創業枠での補助実施60件 ・制度に関して、商店会関係者等から意見聴取を実施
		実施	1月末時点における申請件数は全体で44件。うち創業枠は23件となった。市公式SNSを活用し、周知に努めた。				
	3	予定	商店会が行う買い物支援について、都の補助金に関する情報提供と情報収集を行う。			達成 指標	・都補助金の周知実施 ・他自治体等での事例調査とその情報を商店会へ共有
		実施	商店会へのアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・中央地区、武蔵境地区、吉祥寺地区のすべてにおいてそれぞれの地域の実情に即した形での地区サポート事業を実施することができた。 【取組2】 ・商店会活性出店支援金は商店会からの評価も高く、商店会加入促進施策として評価できる。一方で、支援金支給後の継続加入等については課題があり、今後の事業のあり方を検討していく必要がある。 【取組3】 ・アンケートでは、買い物弱者支援に対して、「地域の利用者や会員からの要望はない」との回答が多数であり、買い物弱者支援に対するニーズがそこまで高くないことを把握した。 ・現時点で買い物弱者支援事業の実施を検討している商店会もないため、今後の事業展開について検討していく必要がある。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・地区サポート事業については、引き続き全地区での継続実施を支援しつつ、今後のあり方について商店会連合会等と一体となって検討していく。 ・商店会活性出店支援金については、令和6年度から創業枠を設けた常設型へ転換し、3年度目となるため、事業のあり方について検討していく。 ・買い物弱者支援については、引き続き商店会等からヒアリングを行い、必要な支援を検討していく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		地区サポート事業の今後の展開について検討していく必要があると考えている。 商店会活性出店支援金も今後のあり方について検討し、政策再編を考えていく。					
審議会意見		買い物支援について、高齢者だけでなく子育て世代なども含めた幅広い視点で検討してもらいたい。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、子ども子育て支援課、まちづくり推進課、交通企画課			
			関係機関	商店会連合会			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		2	方針名	地域や学生等と連携して創る産業振興			
施策番号		7	施策名	子どもや子育て世代とともに創るまちの魅力			
取組 内容	1	予定	まちとわたしとあなたプロジェクトを通じて、子どもや子育て世代のニーズを商店会等へ共有する取り組みを実施する。			達成 指標	・ワークショップの実施形式の検討 ・参加者アンケートで参加満足度調査を行い、8割以上の高評価獲得 ・提案事例の事業実施
		実施	今年度はワークショップに加えて、振り返りの会を実施。また、ワークショップのテーマに 産業振興の視点を追加し実施 。アンケートの結果、 約93%の方から高評価 を得た。				
	2	予定	地域の商業施設と協力して実施しているベビーカー貸出しサービス事業について、主な利用者である子育て世代の意見や事業者等の意見を聴取しながら、サービスの改善を図る。				・利用者や事業者等の意見を聴取し、手続きのオンライン化等を含めたサービスの改善案をまとめる。
		実施	本事業の拡充に努め、貸出場所について 新たに2事業所追加する予定 。また、 申請書の電子化に向けて試行事業を実施 した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 。今年度は「商店街編」として実施。子育て世代の参加者も複数人あり、子どもの居場所なども含めた対話が行われ、「わたしたちのこのまち・商店会の“好き”」をアップデートするための企画アイデアが提案された。 ・ワークショップ各会場で優秀アイデアを決定し、さらに振り返りの会で最優秀アイデアを決定。最優秀アイデアについては、次年度事業実施を検討するスキームに改善した。 【取組2】 ベビーカー貸出しサービス事業については、吉祥寺活性化協議会などで事業者へ協力を求め、新規事業者の開拓や申請方法の電子化など目標通り事業を実施することができた。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・まちとわたしとあなたプロジェクトで選出された、最優秀アイデアについては、関係課及び商店会等と協力しながら、事業実施に向けた検討していく。 ・ベビーカー貸出しサービス事業については、今後も事業者への協力を求めつつ、アンケートでいただいた改善点などに取り組みながら、電子化本格導入に向けて引き続き取り組んでいく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		まちとわたしとあなたプロジェクトについて、これまでの経過を踏まえたうえでの効果検証を行い、今後の事業のあり方を検討していく。					
審議会意見		まち全体で子どもを育んでいくという考え方が大切であり、子どもや子育て世帯を守り育むため、商店会の方々にぜひ力を貸してほしいと考える。計画に記載されている「商店会や事業者等と子どもが触れ合える機会創出」について次年度以降、より具体的な検討をお願いしたい。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、多文化共生・交流課、環境政策課、子ども子育て支援課、児童青少年課			
			関係機関	商店会連合会			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		2	方針名	地域や学生等と連携して創る産業振興			
施策番号		8	施策名	次代を担う学生等と連携した新たな価値創造			
取組 内容	1	予定	まちとわたしとあなたプロジェクトを通じて、学生側からの商店会等との連携希望や学生等のニーズを商店会へ共有する取り組みを実施する。			達成 指標	・まちとわたしとあなたプロジェクトを通じたそれぞれの主体の意向把握及び意向に基づいたつながりづくりの検討
		実施	今年度は20代の参加者が多く、大学生世代の参加者は7名であった。大学生が主体となるようなアイデアも話し合われており、商店会と学生とのつながりが生まれていた。				
	2	予定	事例調査として、各商店会における学生等との関わりのある事例・事業の状況把握を行い、連携の方法などを検討する。			・各商店会を対象とした事例収集 ・事例を基にした検討の実施	
		実施	亜細亜大学と関係各課が連携し、学生が主体となってさかいマルシェやQuola祭りに出店するなどの産学官協働を実施した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 - 関係者等の協力を得て、学生の参加を確保できた。今後も大学等や、市内における学生等を対象とした事業の参加者へのアプローチ等、事業の案内や参加の呼びかけを継続したい。 - 今回はワークショップの各グループに商店会関係者が1名以上入るように工夫し、商店会等と学生のつながりが生まれるように設計した。 【取組2】 - 亜細亜大学の学生と、関係課(資産活用課、多文化共生・交流課、情報政策課、産業振興課)が連携し、亜細亜大学生が友好都市の情報発信と物産の販売(麦わら帽子を活用)を行った。					
次年度の予定	方向性	継続					
	内容	・ワークショップ等を通じて地域・商店会等と学生等とのつながりを醸成するスキームを継続する。 ・学生等との関わりについては、今後も市内大学等と連携し、産学官協働のような事例を検討していく。					
審議会報告事項 (産業振興課記載)		学生との連携について、大学と商店会の連携協定など引き続き検討してまいりたい。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。 なお、学生にテーマを伝え、学生主体で取り組んでもらうような仕掛けを行っても良いのではないかと考える。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、資産活用課、市民活動推進課、生涯学習スポーツ課			
			関係機関	—			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		2	方針名	地域や学生等と連携して創る産業振興			
施策番号		9	施策名	特色ある地域資源の活用			
取組 内容	1	予定	スポーツや文化に関するイベントに関する情報について、庁内における各種事業を調査するとともに、社会実験と同様に産業分野との連携意向を把握し、関係機関への呼びかけを行う。		達成 指標	・関係部署におけるイベント・事業との連携	
		実施	昨年度に引き続き庁内における各種事業を調査するとともに、社会実験と同様に産業分野との連携意向を把握し、関係機関への呼びかけを行う案を基軸として検討した。				
	2	予定	認定創業支援施設との連携を強化するために、むさしの創業・事業承継サポートネットと連携した有効な手法を検討する。			・市の事業や市の後援事業に関する情報共有スキームの整理 ・認定創業施設を利用した出店機会の確保	
		実施	むさしの創業・事業承継サポートネットで議題に挙げ、関係団体と認定創業支援施設との連携強化について検討した。				
	3	予定	令和9年度にローカルスタートアップ事業の実施に向けて、他自治体における事例や武蔵野市ならではの事業のあり方について検討する。			・他自治体における制度運用（ローカル10000含む）の情報収集と整理完了 ・武蔵野市ならではの事業の検討	
		実施	説明会等の資料を通じて、他自治体における実施状況、国の制度主旨（補助金等のルール）の把握を行い、次年度への足がかりとなる整理ができた。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・スポーツイベント等に関する情報情報収集のあり方を検討した件については、実施内容のとおりであるが、情報共有の手法や実際に連携事業が実現できるかについては、課題があると考えている。 【取組2】 ・現時点で認定創業支援施設との連携は広報協力にとどまっており、連携強化に向けては認定創業支援施設との意見交換等の必要があると感じた。 【取組3】 ・情報収集等を予定どおり行うことができた点は良いが、各自治体で事業規模の差異があり、今後はその点も整理したうえで、本市の取り組みを検討すべきであると考えている。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・スポーツ、文化等に関する事業の情報収集（連携意向含む）を実施する。 ・認定創業支援施設を訪問し、現状の把握や要望など、双方必要な情報を整理したうえで、連携強化手法を検討する。 ・令和9年度にローカル10,000の事業実施に向けて、具体的な事業構築作業を行う。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		引き続き、認定創業支援施設との連携方法について検討していく。 ローカル10,000については、他部署の協力も得つつ進めていきたい。					
審議会意見		事業承継事業について、金融機関ともより連携を図りながら実施する方向で検討を進めること。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課			
			関係機関	商工会議所			
作成日	目標 設定	2025/6/19		中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19
方針番号		3	方針名	都市の活力を担う持続可能な産業振興			
施策番号		10	施策名	経営基盤の安定化と事業革新の推進			
取組 内容	1	予定	市に提供される事業者向けの情報について、SNSを活用した情報提供の方法を整理する。			達成 指標	・来庁者向けの情報整理とSNSの活用
		実施	市公式LINEを活用し、事業者向けの情報発信を検討した。また、来庁者向けのチラシの配架についても、レイアウトなど一部工夫を行った。				
	2	予定	市融資あっせん制度について、社会情勢の変化に合わせて制度の見直しを図る。			達成 指標	・短期プライムレートなどの変化が生じた際の対応
		実施	短期プライムレートの変動を加味し、市融資制度の利率変更を検討したが、 事業者支援の観点から利率の据え置く決定 を行った。				
	3	予定	引き続き事業者の経営基盤安定化と事業革新を推進するための情報提供の強化を図る。また、足りない情報がないか整理する。			達成 指標	・商工会議所と情報提供のあり方を協議し、市として整理完了
		実施	市に届く制度案内などを必要に応じて、商工会議所に展開する事務スキームを整えた。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1,3】 ・令和8年1月27日時点で、市公式LINEにおいて「事業者支援」の情報を受け取りたいとしている登録者数は約1,300人であり、このスキームを活用し、商店会活性出店支援金の案内などを発信した。今後もSNS等を活用した情報発信を検討していく。 【取組2】 ・金融機関へのヒアリングなども行い、利率の変更について検討した結果、 利用者負担を第一考え、利率を据え置く決定 を行った。 ・現在も金利は変動し続けているため、利率の変更については検討を重ねていく予定である。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・市融資あっせん制度について、社会情勢の変化に合わせて制度の見直しを検討する。 ・情報発信について、効果的な手法について引き続き手法を検討していく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		SNSの活用について、必要な情報が届いているか検討していく必要があると考えている。 融資利率については、今後も利用者目線で検討していく。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象年度	令和7年度		担当課	産業振興課、情報政策課			
			関係機関	商工会議所、商店会連合会、開発公社			
作成日	目標設定	2025/6/19		中間見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19
方針番号		3	方針名	都市の活力を担う持続可能な産業振興			
施策番号		11	施策名	時流や変化を捉えたデジタル化・DXの推進			
取組内容	1	予定	商店会や事業者の課題を把握する前提として、国や都が進めるDX・デジタル化の施策について商店会や事業者向けの情報提供の場を設ける。			達成指標	・産業における国や都のDX等に資する施策に関する整理 ・市としての施策のあり方の検討
		実施	東京都が展開する「東京都商店街デジタル化推進事業補助金」について案内を行い、今年度1件活用事例があった。				
	2	予定	キャッシュレス化導入を希望する商店会・事業者への支援手法について、検討(実施)する。			達成指標	・商店会を対象とした都の補助事業の周知 ・希望する商店会に対する説明・相談対応の実施
		実施	都の補助事業の周知は補助金説明会で実施したほか、実際の運用スキーム(商店会における導入)について、確認を行った。				
	3	予定	引き続き、フリーWi-Fi 事業のトレンドや効果を踏まえて今後の事業のあり方を検討する。			達成指標	・データ収集の実施
		実施	フリーWi-Fi 事業の情報収集を参考にした来街者の人流分析事業を検討し、新たなデータ収集手法の導入を目指した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・DX・デジタル化推進について、当該商店街と相談する中で、 商店街の看板型の屋外マップの更新時にAR技術を導入 する事業について、「東京都商店街デジタル化推進事業補助金」の活用を案内し、実施することができた。 【取組2】 ・商店街チャレンジ戦略支援事業における商店会を対象とした補助金は、商店会で取りまとめを行う必要があるほか、導入機器の管理も商店会で行うなど、商店会の負担が大きいことが把握できた。 【取組3】 ・人流分析等のデータ収集、データ活用については前進している一方で、各種通信インフラの充実等といった理由により、フリーWi-Fi自体の利用件数が昨年より減少していることがわかった。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・商店会等のニーズを把握しながら、DX・デジタル化への支援を行っていく。 ・キャッシュレス決済については、事業者の要望を踏まえつつ、必要な支援を検討していく。				
審議会報告事項(産業振興課記載)		DX、キャッシュレス化等の取り組みについて、各商店会や事業者の状況、メリット・デメリットを検討した上での提案や支援を行う必要があると考えている。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課			
			関係機関	商工会議所			
作成日	目標 設定	2025/6/19		中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19
方針番号		3	方針名	都市の活力を担う持続可能な産業振興			
施策番号		12	施策名	事業者連携の新たな場づくり			
取組 内容	1	予定	CO+LAB MUSASHINO事業の認知度向上を図るとともに、認定事業をまちの魅力に繋げるためPR面での強化を図る。			達成 指標	・認定された飲食店を中心に、紹介動画を10本作成し、総閲覧回数2万回を目指す。
		実施	昨年度に引き続き認定制度を継続し、今年度は <u>33件の認定を行った(12月末時点)</u> 。また、事業の認知度向上と認定事業者のPR施策としてPR動画の作成を実施。 <u>作成動画本数14本、総再生回数18,045回</u> であり、多くの方々に視聴いただいた(令和8年1月9日時点)。				
	2	予定	まちとわたしとあなたプロジェクトについては、次年度も同程度の回数・参加者で開催する。加えて、実際の活動につながるような仕掛けを検討して取り入れる。				・まちとわたしとあなたプロジェクトを通じてニーズ把握の実施 ・商店会や事業者が今後求めるマッチング支援について、状況を把握
		実施	ワークショップを2回開催し、さらに振り返りの会として「まちプロ THE AWARD」の設計を行った。振り返りの会に向けて参加者に発表資料を作成いただく過程で、 <u>参加者が主体的に集まり、つながるスキームを構築した</u> 。				
実施内容に 関する所見・評価		【取組1】 ・認定実績として令和6年度は22件、令和7年度は現時点で33件と、 <u>合計50件超の認定</u> となり、実績を積み重ねている。 ・CO+LAB MUSASHINO動画の視聴回数も伸びており、市報にPRバナーを定期的に掲載することで <u>認知度向上の取組み</u> を行っている。 【取組2】 ・「まちプロ THE AWARD」は、ワークショップで各会場から選出された優秀アイデアのグループの発表の場を設け、お互いのアイデアの共有や <u>さらなるつながりの醸成などを図る場</u> として設計。 ・参加者全員で最優秀アイデアを決定する設計にしており、選ばれたアイデアは次年度事業実施を検討することとしている。今年度は <u>ワークショップからの継続性を意識したスキーム</u> に昇華させ、 <u>参加者が主体性をもって取組むプラットフォーム</u> にできたのではないかと評価している。					
次年度の予定		方向性	拡充				
		内容	・CO+LAB MUSASHINO事業について、今年度の効果等を検証しながらPR施策や認定制度のあり方について検討し、まちの魅力向上に寄与するスキームに昇華させていく。 ・まちとわたしとあなたプロジェクトについては、ワークショップ及び「まちプロ THE AWARD」で選出されたアイデアをどのように事業実施していくか検討していく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		まちとわたしとあなたプロジェクトについて、事業開始3年度目ということで、一定の方向性を見出すような取組みを実施したいと考えている。 CO+LAB MUSASHINO事業について、引き続きPR施策を検討していきたい。					
審議会意見		CO+LAB MUSASHINO事業について、地産地消について、より意識しながら、地元農家や農業団体とより連携した取組みを検討すること。 また、事業者同士の連携機会の場の創出などを検討すること。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課					
			関係機関	商工会議所、商店会連合会					
作成日	目標 設定	2025/6/19		中間 見直し	2025/12/21		評価時	2026/2/19	
方針番号		3	方針名	都市の活力を担う持続可能な産業振興					
施策番号		13	施策名	未来につなげる事業承継支援					
取組 内容	1	予定	関係機関と連携を図りつつ、本市の事業者特性を生かした事業承継支援の展開を引き続き検討する。				達成 指標	・事業承継に関するセミナーのあり方の検討	
		実施	関係機関と連携し、共催事業として次年度事業の設計・構築の検討を行った。						
	2	予定	関係機関と協力し、相談事業を行うとともに、窓口の認知度向上に継続して取り組む。				達成 指標	・市広報媒体及びサポートネット関係機関を活用した事業承継窓口の広報実施	
		実施	事業承継の窓口認知を向上させるための広報のあり方については検討したが、広報の実践には至らなかった。						
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・事業承継について、関係機関にヒアリングし、近隣他市も事業承継セミナーを開催しても一般参加者からの申込みが少ないという状況が続いているという情報を共有した。同じ課題を抱えている商工会議所とともに、参加者目線でセミナーの設計を検討し、次年度共催という形で開催することを協議した。 【取組2】 ・事業承継の相談窓口を市で開設しているという取組みについて周知する必要があると考えている。							
次年度の予定		方向性	継続						
		内容	・事業承継支援のあり方については、むさしの創業・事業承継サポートネットとも共有、意見交換を進めていく。 ・関係機関と連携して、参加者に興味を抱いてもらえるような内容のセミナーを引き続き検討していく。						
審議会報告事項 (産業振興課記載)		事業承継については、潜在的なニーズをどのように、相談や実現につなげていくかという点に、困難さや課題がある。引き続き連携する専門機関等との情報共有も図りつつ、相談等をされたい方などへの支援につなげていく必要があると考える。							
審議会意見		事業承継のマッチングなどについて、金融機関との連携も積極的に行っていただきたい。							

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、環境政策課			
			関係機関	商工会議所			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		3	方針名	都市の活力を担う持続可能な産業振興			
施策番号		14	施策名	環境に配慮した事業活動の推進			
取組 内容	1	予定	事業者等の積極的な環境配慮行動に繋げるため、2050ゼロパートナー制度等を積極的にPRするとともに再エネ共同購入プロジェクトのように事業者には有益な情報を提供し、取組を促していく。		達成 指標	・環境関連の補助金や制度について、情報収集とその整理の実施	
		実施	2050ゼロパートナー制度等を積極的にPRし、新たに4事業者を2050ゼロパートナーに認定した。また、各パートナーの環境に関する取組をSNSやパネル展示にて紹介した。再エネ共同購入に関する情報を提供し、取組を促した。				
	2	予定	環境関連イベントとの連携のあり方について引き続き検討する。			・市内事業者等のイベントへの関わり方や、そのスキームについて、関連部署と協議・整理実施	
		実施	市内事業者向けに環境に関するアンケート調査を実施した。むさしの環境フェスタを開催し、市内事業者がブース出展を行った。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・産業振興課・環境政策課、両課の連携を図りつつ、市内の事業者等に関連情報の提供を実施することができた。 ・一方、情報共有のためのチャンネルについては、引き続き開発・開拓が必要であると考えている。 【取組2】 ・むさしの環境フェスタへのブース出展の継続を図るとともに、その他のイベント等の機会を捉えて事業者との連携を拡大していく必要があると考えている。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・引き続き分野横断的な情報共有の方法を検討していく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		環境に配慮した事業活動の推進について、具体的な活動につながるような取組はあまりできていない。次年度も具体的な活動につながるような情報発信・共有を検討していく必要があると考えている。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、生涯学習スポーツ課			
			関係機関	商工会議所			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		4	方針名	個性を活かし誰もがチャレンジできる産業振興			
施策番号		15	施策名	個性を磨く学びなおし・チャレンジする風土の醸成			
取組 内容	1	予定	リスクリングについて、東京都や他自治体で実施している支援施策について情報収集を行うとともに、市内事業者の取組事例を把握する。			達成 指標	・関係機関、他自治体等における情報収集の実施
		実施	情報収集は実施したが、 <u>今後の方向性までは着手できなかった。</u>				
	2	予定	誰もが働くことができる雇用環境づくりに向けて、市内事業者へ必要な情報提供を引き続き実施する。				・関連機関で実施している支援情報の収集 ・収集した情報の整理とを広報の実施
		実施	関係機関で実施している情報の共有について、庁内関係部署へはできているが、外部への提供については、ニーズの把握ができず、展開できていない。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・東京都などで実施する事業や補助制度に関する情報収集は実施した。 【取組2】 ・関係機関からの情報提供量が多く、必要な情報かどうかの判断が難しい状況。 ・一方で、就労を含めた高齢者の社会参加の促進については、今年度から庁内横断的な検討を行っており、次年度は専用の支援窓口の設置も視野に更なる検討を進める予定。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・リスクリングに関する支援について、関係機関と連携し、市内の事業所におけるリスクリングの取組みを市として支援する方策について具体的な検討を行う。 ・市内事業者にとって必要な情報についてのニーズ把握に努める。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		雇用環境について、商店会など現場の声をヒアリングし、ニーズに合った内容を検討していく必要があると考えている。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度	担当課	産業振興課、市民活動推進課、多文化共生・交流課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課				
		関係機関	—				
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		4	方針名	個性を活かし誰もがチャレンジできる産業振興			
施策番号		16	施策名	誰もが働き・活躍できる環境づくり			
取組 内容	1	予定	就労にあたって困難を抱える方に対して、就職活動への支援や就職後の支援のあり方を検討し、実施に向けた取組みを行う。		達成 指標	・福祉関係施策と連携し、組織間で情報共有と協議を行い、事業スキームの整理を完了	
		実施	福祉関係部署と連携し、情報共有・協議を実施し、事業者向けの周知についても計画した。				
	2	予定	高齢者が経験や知識を活かしながら働くことができる環境を作るため、庁内横断的な検討を進める。			・庁内検討会議での議論等を踏まえ、施策の道筋をつける	
		実施	高齢者の社会参加について、ワーキングチームが設立され、その一員として、ハローワークや商店会等へヒアリングなどを行い、現状の把握などを行った。				
	3	予定	ハローワーク・東京しごとセンター多摩等が行うセミナー等のイベントに関する情報発信を行うことで、連携を強化する。			・各種講座・セミナー等イベント情報の庁内関係各課との共有方法を検討し、実施	
		実施	講座・セミナー情報を集約して、内容に応じて庁内各課に情報提供を実施し、HPや市報、SNSにて市民への情報発信も行った。				
	4	予定	ワークライフバランスへの理解促進に資するため、市内事業者等の優れた取組みを共有する仕組みづくりを検討する。			・他自治体等での取組み事例を収集し、課題の洗い出しを実施	
		実施	他自治体の実践状況の情報収集は実施したが、方向性については着手できなかった。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・就労に困難さを抱える方への支援については、福祉関係部署との情報共有・協議を適宜実施している。 【取組2】 ・高齢者の社会参加の推進に関するワーキングチームに参加し、産業振興部門としてハローワークや商店会等へヒアリングを実施。高齢者の就労についてニーズや就労可能性などについて検討を行った。 【取組3】 ・関係機関が行う講座・セミナーなどの情報の共有方法を確立し、実施できた一方、その提供情報が適切に活用されているかについては、把握ができていないため、課題があると考えている。					
次年度の予定	方向性	継続					
	内容	・就労にあたって困難を抱える方への支援については、次年度も引き続き福祉関係部署との連携を図りつつ、進めていく。 ・特に高齢者への就労も含めた社会参加支援については専用の支援窓口の設置も視野に更なる検討を進める予定。 ・専門機関が行う講座・セミナー情報の提供も継続して取り組みつつ、どのような情報が有益であるか、ヒアリングしていく。					
審議会報告事項 (産業振興課記載)		・庁内横断的なワーキングチームに参加することにより、福祉部門や生涯学習部門などの状況について把握することができた。今後も横断的な情報共有の場を作っていく必要がある。 ・高齢者への就労も含めた社会参加支援については、より具体的な検討を進めるべきと考える。					
審議会意見		高齢者の社会参加に止まらず、子育て世帯なども含め、就労に困難を抱える方への支援のあり方について検討を進めること。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課			
			関係機関	商工会議所			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		4	方針名	個性を活かし誰もがチャレンジできる産業振興			
施策番号		17	施策名	夢と思いを実現する起業・創業への支援			
取組 内容	1	予定	むさしの創業・事業承継サポートネット連携機関との情報交換の場は今後も定期的に実施していく。			達成 指標	・サポートネットを共同運営する関係機関との情報交換を目的とする会議を年1回実施
		実施	むさしの創業・事業承継サポートネットを運営する金融機関等との情報交換会を実施した。次年度以降も定期的に実施予定である。				
	2	予定	アントレプレナーシップの醸成に資する事業について、引き続き調査し、周知方法なども検討していく。				・高等学校等における教育課程や大学で行われているアントレプレナーシップ教育、市の既存事業の情報収集を行う
		実施	位置づけが似ている事業については、情報収集は行うことができた。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・連携機関との情報交換会を実施し、お互いの創業・事業承継に関する現状や課題を共有することができた。 【取組2】 ・市の既存事業については、アントレプレナーシップの醸成として始まった事業ではないものの、再位置づけできる可能性があるものを把握できた。 ・一方、大学や高校での状況については、引き続き情報収集が必要な状況であると考えている。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・むさしの創業・事業承継サポートネット連携機関との情報交換の場は今後も定期的に実施していく。 ・アントレプレナーシップについては、市内大学などとも連携しながら、情報収集を行うとともに、市として関連事業の実施について、新設の事業の要否、既存事業の充実など、具体的な方向性を検討する。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		金融機関等との連携については、今後も充実させ、市単独では実施が難しい案件をネットワークの力でやっていく必要があると考える。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、安全対策課、防災課、まちづくり推進課、交通企画課、道路管理課			
			関係機関	商工会議所、商店会連合会			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		5	方針名	事業者・消費者のための安全・安心な産業振興			
施策番号		18	施策名	安全・安心に過ごせるまちの推進			
取組 内容	1	予定	災害に備え、防災関係団体や商工関係団体と連携した訓練を行う。		達成 指標	・関係機関等と連携して、帰宅困難者対策訓練を実施	
		実施	災害に備え、防災関係団体や商工関係団体と連携した訓練を実施した。				
	2	予定	街頭防犯カメラ設置・管理への支援を行っていく。市が設置する街頭防犯カメラについて検討を進める。また、市民や来街者が安心してまちを訪れ、滞在できるようにするためのパトロールの実施やAEDの設置台数を増やす。			・街頭防犯カメラ設置/管理に関する商店会関係者からの相談対応と補助金等の情報提供の実施 ・警察、関係団体と連携した各種パトロール等の実施	
		実施	街頭防犯カメラ設置・管理への支援を行った。また、市が設置する街頭防犯カメラの設置台数を増加した。(27か所40台)さらに市内コンビニと連携し、28店舗にAEDの設置を行った。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・吉祥寺における帰宅困難者の発生に備えた会議や訓練を実施した。 ・中央地区・武蔵境地区における帰宅困難者対策についても検討し、説明会の実施について各地区に情報共有を行った。 【取組2】 ・防犯カメラの設置等に関する補助金等の情報提供については、商店会向けの補助金説明会で実施したほか、関係団体と連携した各種パトロール等も計画どおり実施できた点は評価できている。 ・今年度新設された都の補助金、商店街防災力向上緊急支援事業について市内商店会へ案内し、活用を促したところ、18商店会が当補助金を活用して防災資機材・備蓄品を購入した。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・防災訓練について、必要な訓練等を引き続き実施していく。 ・防犯カメラの補助制度等の商店街区の安心・安全につながる取組を継続するとともに、相談体制についても関係部署と連携して実施していく。 ・都が行う商店街防災力向上緊急支援事業への補助金については、次年度も継続する方向性が出されたため、引き続き市内商店会への周知を行う。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		東京都の補助金为新設されたことから、商店会の防災意識が高まっていると感じている。また、防犯についても機運が高まっているため、引き続き、災害発生等に備えた取り組みや関係団体との連携について取組んでいく。					
審議会意見		帰宅困難者対策について、備蓄拠点の周知を検討いただきたい。 防犯カメラの設置について、重点地区などを決めて引き続き増設を検討いただきたい。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課、環境政策課、地域支援課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、生涯学習スポーツ課			
			関係機関	—			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		5	方針名	事業者・消費者のための安全・安心な産業振興			
施策番号		19	施策名	消費生活の向上と学びの推進			
取組 内容	1	予定	令和7年4月1日に設置した消費者安全確保地域協議会で高齢者等の消費者被害の未然防止、拡大防止に向けた取組みを協議していく。また協議会メンバーの充実も検討していく。			達成 指標	・中核となる福祉関係機関等と連携スキームを協議し、ネットワークの構築実施 ・協議会メンバーの検討
		実施	4月末に第1回消費者安全確保地域協議会を開催。10月1日に要綱改正を行い協議会メンバーを拡充した。				
	2	予定	消費者被害防止の取り組みとして、注意喚起のためステッカーの配布事業などを実施していく。			達成 指標	・消費者被害件数の減少
		実施	広報担当の外部人材を活用し、より効果的なステッカーの作成及び配布を行った。				
	3	予定	事業活動等の参考となる市が実施する各種講座等の情報を事業者向けに周知する。			達成 指標	・関係部署等が行う講座のうち、事業者向けに情報提供(参加の呼びかけ)を希望するものについて調査実施
		実施	各所管課が行う講座、説明会について、周知協力した。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・武蔵野市消費者安全確保地域協議会に、高齢者の地域相談窓口を担う在宅介護・地域包括支援センターをメンバーに加えることで、高齢者の消費者被害防止に向けた取組をより充実させた ・次年度は情報共有の効果的な手法の検討等、消費者被害未然防止に向けた取組を充実させていく。 【取組2】 ・悪質商法・特殊詐欺被害の防止のための注意喚起用ステッカーとして、関係各課と連携しながら、約7,000枚配付した(令和7年1月末時点)。 ・障害者福祉課と連携し、障害のある方が集まるイベントである「むさしのあったかまつり」においてもステッカーを配布し、啓発を行った。 【取組3】 ・商工会議所及び商店会連合会への情報共有を図った点は一定程度できているが、情報の掘り起しには引き続き工夫が必要であると考えている。					
次年度の予定	方向性	継続					
	内容	・在宅介護・地域包括支援センターがメンバーに入り、高齢者被害相談について現場の声が届きやすい環境が整った。 ・次年度は協議会を活用し、情報共有の迅速なやり取りの方法を検討すると共に高齢者が陥りやすい消費者被害についての啓発についても出前講座を通じて情報共有していく。 ・注意喚起用ステッカーは今年度同様に、配布を行い啓発を図っていく。					
審議会報告事項 (産業振興課記載)		市内の特殊詐欺等の被害は下火になることはなく、消費者被害の未然防止と拡大防止は喫緊の課題である。 協議会のメンバーの充実を図り、引き続き取り組んでいく必要があるとともに、またそれらに関連した市民への情報提供も充実させる必要がある。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					

第三期武蔵野市産業振興計画 管理・評価シート

対象 年度	令和7年度		担当課	産業振興課			
			関係機関	商工会議所、商店会連合会			
作成日	目標 設定	2025/6/19	中間 見直し	2025/12/21	評価時	2026/2/19	
方針番号		5	方針名	事業者・消費者のための安全・安心な産業振興			
施策番号		20	施策名	経済危機に対する事業継続への備え			
取組 内容	1	予定	国や都が用意する補助金メニューの把握に努めるとともに、他自治体の動向も注視しながら、必要な経済対策について検討・協議する。			達成 指標	・地域との交流を通して、事業者のニーズを適切に把握する。
		実施	経済対策について、 <u>市内商工団体等にヒアリング</u> を行い、必要な支援を検討した。				
	2	予定	新型コロナウイルスのような感染症の拡大や自然災害等の発生時に備え、各事業者に確実に伝わる情報提供を目指し、市のSNSを通じた情報発信を強化する。				・市公式SNSでの取り組み実施
		実施	市公式LINEの活用し、市内事業者向けの情報発信などを行った。				
実施内容に関する所見・評価		【取組1】 ・物価高騰対策について、 <u>適宜ヒアリング</u> を行い、必要な時に必要な支援ができるよう準備を行った。 【取組2】 ・平時から活用することで災害等発生時でも情報発信のツールとして活用できるようにすべきであると考えている。					
次年度の予定		方向性	継続				
		内容	・引き続き市内商工団体等と必要に応じて情報共有できるような関係性を構築していく。 ・情報発信については、引き続き市公式LINEの活用を軸に、その他の手法も検討していく。				
審議会報告事項 (産業振興課記載)		データ収集及び情報発信については、有事の際を見据えて、平時からの収集・発信が必要であると考え、関係機関との連携を図りつつ進めていくことが必要であるとする。					
審議会意見		上記のとおり進めることを求める。					